【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【公開番号】特開2001-119303(P2001-119303A)
【公開日】平成13年4月27日(2001.4.27)
【出願番号】特願平11-295922
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｍ　7/30　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　14/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｍ　7/30　Ａ
Ｈ０４Ｂ　14/04　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月13日(2006.3.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】 時系列データを複数の帯域に分割して複数の帯域分割データを生成する帯域分割手段と、上記帯域分割手段で生成された所定のデータ量の帯域分割データごとに、当該帯域分割データの帯域を示す伝送帯域識別子を少なくとも付加した符号列データを生成する符号化手段と、上記符号化手段で生成された全時間分の帯域分割データを含む符号列データを帯域毎に、伝送路を介して接続された受信装置に送信する送信手段とを備えることを特徴とする符号化装置。
【請求項２】 上記符号化手段は所定時間分の帯域分割データごとに符号列データを生成し、上記送信手段は上記符号化手段により生成された所定時間分の帯域分割データを含む符号列データを帯域毎に送信することを特徴とする請求項１記載の符号化装置。
【請求項３】 上記受信装置からの帯域数要求情報に応じて上記受信装置に送信する伝送情報量を決定する伝送量制御手段を備え、上記送信手段は、上記伝送量制御手段で決定された伝送情報量に基づいて伝送量が制御されることを特徴とする請求項１記載の符号化装置。
【請求項４】 上記受信装置からの帯域分割データを再生するのに必要な帯域数を要求する伝送帯域数要求情報に基づいて帯域数を決定する帯域数制御手段を備え、上記符号化手段は、上記帯域数制御手段で決定した伝送帯域数要求情報に応じた帯域の帯域分割データを含む符号列データを生成することを特徴とする請求項１記載の符号化装置。
【請求項５】 上記受信装置と接続している伝送路の使用状況に応じた伝送使用情報を生成する伝送使用情報生成手段を備え、上記帯域分割手段は、上記伝送使用情報生成手段からの伝送使用情報に基づいて帯域分割数を変化させることを特徴とする請求項１記載の符号化装置。
【請求項６】 上記伝送使用情報生成手段は、上記送信手段から符号列データを送信したことに応じた上記受信装置からのデータ受信応答に基づいて伝送使用情報を生成することを特徴とする請求項５記載の符号化装置。
【請求項７】 上記符号化手段は、第１の帯域分割データを時系列の順方向に従って所定のデータ量ごとに配列した符号列データを生成し、上記第１の帯域分割データ以降の帯域分割データを時系列の逆方向に従って所定のデータ量ごとに配列した符号列データを生成し、上記送信手段は、第１の帯域分割データを含む符号列データを送信した後に、上記

第１の帯域分割データ以降の帯域分割データを含む符号列データを送信することを特徴とする請求項１記載の符号化装置。

【請求項８】 上記帯域分割手段は、ポリフェイズ直交フィルタを備えることを特徴とする請求項１記載の符号化装置。

【請求項９】 時系列データを複数の帯域に分割して複数の帯域分割データを生成し、生成した所定のデータ量の帯域分割データごとに、当該帯域分割データの帯域を示す伝送帯域識別子を少なくとも付加した符号列データを生成し、全時間分の上記帯域分割データを含む上記符号列データを帯域毎に、伝送路を介して受信装置に送信することを特徴とする符号化方法。

【請求項１０】 伝送路を介して接続された送信装置から、時系列データが複数の帯域に分割されてなる帯域合成データを含む符号列データを帯域ごとに順次受信する受信手段と、上記受信手段で受信した各帯域ごとの帯域分割データを順次合成して複数の帯域からなる帯域合成データを生成する帯域合成手段と、上記帯域合成手段で順次生成した帯域合成データを再生する再生手段とを備えることを特徴とする復号装置。

【請求項１１】 上記再生手段で再生する帯域数に応じた帯域分割データを上記送信装置に送信要求する帯域数要求手段を備え、上記帯域合成手段は上記帯域数要求手段で要求した帯域数に応じて送信された帯域分割データを合成して帯域合成データを生成することを特徴とする請求項１０記載の復号装置。

【請求項１２】 所定時間分のデータを格納する記憶手段と、上記記憶手段に記憶された所定時間分のデータを、繰り返し再生するように上記再生手段を制御する繰り返し再生制御手段を備え、上記帯域合成手段は、順次合成した帯域合成データを順次上記記憶手段に記憶し、上記繰り返し再生制御手段は、上記記憶手段に記憶された帯域合成データの帯域数が順次多くなることに応じて、再生する帯域合成データを変更させて繰り返し再生するように上記再生手段を制御することを特徴とする請求項１０記載の復号装置。

【請求項１３】 上記繰り返し再生制御手段は、所定のデータ量の帯域分割データを上記受信手段で受信したことに応じて、所定のデータ量の帯域分割データを用いて上記再生手段で繰り返し再生を行うように制御することを特徴とする請求項１２記載の復号装置。

【請求項１４】 上記繰り返し再生制御手段は、所定のデータ量の帯域分割データを上記受信手段で順次受信したことに応じて、所定のデータ量の帯域分割データごとに繰り返し再生を行うデータを更新して繰り返し再生を行うように上記再生手段を制御することを特徴とする請求項１３記載の復号装置。

【請求項１５】 上記受信手段で受信した帯域分割データ又は上記帯域合成手段で生成した帯域合成データを格納する第１の記憶手段及び第２の記憶手段を有し、上記繰り返し再生制御手段は、上記受信手段で順次受信した所定のデータ量の帯域分割データ又は帯域合成データを交互に上記第１の記憶手段と上記第２の記憶手段に格納し、上記第１の記憶手段又は上記第２の記憶手段に格納された所定のデータ量の帯域分割データ又は帯域合成データの先頭位置において上記再生手段で繰り返し再生する帯域分割データ又は帯域合成データを切り換え制御することを特徴とする請求項１２記載の復号装置。

【請求項１６】 上記繰り返し再生制御手段は、所定のデータ量の帯域分割データ又は帯域合成データを順次受信したことに応じ、上記再生手段で繰り返し再生を行っている帯域分割データ又は帯域合成データと上記受信手段で受信した帯域分割データ又は帯域合成データとを時間軸上で接続し、接続された帯域分割データ又は帯域合成データを用いて繰り返し再生を行うように上記再生手段を制御することを特徴とする請求項１２記載の復号装置。

【請求項１７】 上記受信手段は送信装置と接続している伝送路の使用状況に応じた伝送使用情報に応じて帯域数が変化された符号列データを受信し、上記帯域合成手段は符号列データに含まれる帯域数に応じて合成する帯域分割データを変化させることを特徴とする請求項１０記載の復号装置。

【請求項１８】 上記帯域合成手段は、全時間分の全帯域分割データを上記受信手段で受信したことに応じて帯域分割データを合成し、全時間分のＰＣＭデータを生成すること

を特徴とする請求項１０記載の復号装置。

【請求項１９】 上記再生手段で再生するときの標本化周波数を、上記受信手段で受信した符号列データに含まれる帯域数に応じて制御する標本化周波数制御手段を備えることを特徴とする請求項１０記載の復号装置。

【請求項２０】 上記標本化周波数制御手段は、上記受信手段で受信する符号列データに含まれる帯域がＮ個であるとき、第１の帯域分割データを受信したことに応じて上記再生手段の標本化周波数を送信装置で指定された標本化周波数の１／Ｎとし、第２の帯域分割データを受信して上記帯域合成手段により生成された帯域合成データを再生するときには上記標本周波数を送信装置で指定された標本化周波数とすることを特徴とする請求項１２記載の復号装置。

【請求項２１】 伝送路を介して送信装置から、時系列データが複数の帯域に分割されてなる帯域合成データを含む符号列データを帯域ごとに順次受信し、受信した各帯域ごとの上記帯域分割データを順次合成して複数の帯域からなる帯域合成データを生成し、順次生成した上記帯域合成データを再生することを特徴とする復号方法。

【請求項２２】 時系列データを複数の帯域に分割して複数の帯域分割データを生成し、生成した所定のデータ量の帯域分割データごとに、当該帯域分割データの帯域を示す伝送帯域識別子を少なくとも付加した符号列データを生成し、全時間分の上記帯域分割データを含む上記符号列データを帯域毎に、伝送路を介して受信装置に送信することを特徴とする符号化処理プログラムを格納したプログラム記憶媒体。

【請求項２３】 伝送路を介して送信装置から時系列データが複数の帯域に分割されてなる帯域合成データを含む符号列データを帯域ごとに順次受信し、受信した各帯域ごとの上記帯域分割データを順次合成して複数の帯域からなる帯域合成データを生成し、順次生成した上記帯域合成データを再生することを特徴とする復号処理プログラムを格納したプログラム記憶媒体。